

至 仏 山 山 行 記 録



目的地	至 仏 山 (山ノ鼻から東面登山道)	期 日	平成 16 年 8 月 25 日 (水)
山行人	笠原正雄・澄子	特 記	平日仕事をサボって鳩待まで車で入る。

地 点 名	(着) ~ (発)	天候	記 事
与 板	午前 3:30 発	曇	湯沢まで一般道。のち小雨から雨
湯 沢 I C	5:15	曇	
谷 川 P A	5:30~5:40	曇	沼田で高速を降りて片品へ。晴れて来て進行方向正面からの朝日眩しい。
鳩 待 峠	7:10~7:55	霧	霧~小雨~本降り、そして雨があがって晴れ間となる。駐車料 2,500 円。おかゆ朝食、支度をする。
山 ノ 鼻	8:55~9:10	曇	同一コースに 4 人組が先行して行く。しっかりした入山届けポストあり。登り始めるとすぐに背後に陽を受けるようになり半袖歩行とする。
森林限界標識	9:53	晴	この手前で 4 人組を追い越す。階段道が沢となって水が流れ下っている。尾瀬ヶ原が良く見渡せる。
休憩 デ ッ キ	10:00~10:05	晴	皇海山だろうか、日光白根だろうか、栃木方面が見える。
中間地点標識	10:30	晴	尾瀬ヶ原の全貌・アヤマ平が見渡せる。いっとき燧ヶ岳の双耳峰が見えた。
休憩 デ ッ キ	10:45~10:55	晴	高度計 1870m。この後ガス濃くなり、雨具を着る。
至 仏 山 頂	11:50~12:35	霧	全く展望利かず。我々のほか 1 ファミリーのみ。一隅に陣取りパンとホットウイスキー。雨もあたり出す。下山準備が済んだ頃、先般の 4 人組が到着した。
小 至 仏	13:25	曇	ここに来るまでに水上側のガスが晴れダムや周囲が見渡せる。何度も足を止め振り返って見る。但し各々の山の頂は雲の中で何山か分らない。
休憩 デ ッ キ	13:50~14:00	曇	階段や木道の後デッキ。雨具を脱ぎ、下山態勢に。武尊の頂は雲中。
鳩 待 峠	15:05~15:25	晴	津奈木橋から湯の小屋経由で湯檜曾へ向かう。途中洞元荘で入浴。(1 人 1,000 円、高すぎる)
与 板 着	21:00		水上でラーメン。水上~湯沢間のみ高速。途中夕飯等の買い物。

至仏東面登山道は前回入山より整備されていて、登り易くなった。道脇の植生も見事に復元していた。下山路は草刈りの直後だった。道が沢となってか、えぐられている所が多くなったような気がする。シーズンオフの平日のため鳩待入山後から戻るまで二十数名と出遭った程度だった。帰路塩沢あたりで巻機の奥にこの山の姿を目にすることが出来た。往路 185 km、復路 174 km、高速代も 350 円安い。